

4：そう思う (よくできている) 3：ややそう思う (できている) 2：あまり思わない (あまりできていない) 1：そう思わない (できていない)

	評価項目	R5.7①市川市立高谷中学校 ※回答率 82.1%					R5.12②市川市立高谷中学校 ※回答率 78.1%					R5.12 市川市内 中学校16校 (%)			
		4	3	2	1	計 (%)	4	3	2	1	計 (%)	4	3	2	1
確かな学力	1 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	11.9	63.1	21.9	3.1	100	15.1	56.5	23.7	4.7	100	17	58	21	4
	2 お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	35.6	46.9	15	2.5	100	18.1	40.1	35.1	6.7	100	18	41	33	8
	3 お子さんは、家庭学習の習慣が身につけている。	17.5	35.9	33.1	13.4	100	20.1	38.5	31.4	10.0	100	23	35	30	12
	4 お子さんは、自分で学習上の課題を解決したり、計画的に学習に取り組むことができる。	13.3	35.3	39.1	11.3	100	16.4	36.1	38.1	9.4	100	← 学校独自の質問			
豊かな心	1 お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	35.6	46.9	15	2.5	100	37.1	45.2	14.7	3.0	100	35	47	16	2
	2 お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。	36.9	51.6	10	1.6	100	45.2	44.5	9.4	1.0	100	44	45	10	1
	3 お子さんは、誰とでも優しく関わっている。	46.3	47.2	5.6	0.9	100	50.8	41.5	7.0	0.7	100	48	45	6	1
	4 お子さんは、「いじめを否定する心」や「命を大切に思う心」が育っている。	62.2	35	2.5	0.3	100	62.9	33.8	3.3	0.0	100	← 学校独自の質問			
健やかな体	1 お子さんは、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている。	37.2	20	29.1	13.8	100	31.8	24.1	31.1	13.0	100	31	27	30	12
	2 お子さんは、自らの安全（交通事故・けがなど）に気をつけて生活をしている。	44.4	48.1	7.2	0.3	100	45.8	47.2	7.0	0.0	100	46	47	6	1
	3 お子さんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身につけている。	21.9	50	20.9	7.2	100	21.4	45.8	25.8	7.0	100	26	45	23	6
	4 お子さんは、防災（地震・火災等）や情報モラルに関する意識を持ち、安全に気を配った行動がとれる。	23.1	60.9	14.4	1.6	100	27.1	55.5	15.4	2.0	100	← 学校独自の質問			
信頼される学校	1 学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている。	18.8	63.4	15.9	1.9	100	19.1	64.2	14.7	2.0	100	20	62	15	3
	2 学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている。	16.9	63.8	17.5	1.9	100	19.4	60.2	17.7	2.7	100	21	61	16	2
	3 学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	22.2	61.3	13.8	2.8	100	26.1	59.9	11.0	3.0	100	23	61	13	3
	4 学校は、特色ある取組や教育を進めている。	12.2	57.8	25.9	4.1	100	13.7	52.5	29.1	4.7	100	16	54	26	4
	5 学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。	16.9	59.4	18.1	5.6	100	20.7	54.8	19.1	5.4	100	19	56	20	5

《 高谷中学校・学校評価②12月実施の分析 》

○17の評価項目で、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の12項目は家庭での「保護者から見た生徒の様子・状況」を聞いた質問です。「信頼される学校」の5項目は、「家庭から見た学校」の評価です。今年度の12月の評価と7月の評価、市内中学校の評価を記載しました。
○上記のうち、13の評価項目を見ると、差異はあるもののほぼ前期と同じ結果でした。
市川市内の中学校での共通質問と比較しても、若干数値では上ですが、同様の結果でした。（市のHPにも掲載）

【確かな学力】

○家庭から見た子供への評価は、前期と同様1～4の項目で他の観点に比べ「あまり思わない」が多くなっています。
○項目1では、「思う」「ややそう思う」の回答の合計が前回より減少しており、およそ4人に1人が「わかりやすい」と回答していない点が課題です。
→先生方は、自分の考えをまとめて発表させる機会を増やしたりするなど様々な工夫をしています。また、相互授業参観等の研修を行い、授業力向上を図っています。今後は、教師の授業力の向上を図るとともに、生徒の学ぶ意欲を引き出すことができるICTの活用（デジタル）と学んだことを日常のリアルな場面で生かす学習（アナログ）を融合させ、効果的な学習を実施してまいります。
○項目2では、7月は「よくできている」の回答が35.6%でしたが、12月では「あまりできていない」が20%増加し、35.1%となっています。
→タブレット端末の配付の効果で、昨年度から「よくできている」との回答が増えましたが、学習方法がICTの活用には偏りすぎないよう、様々な方法を生徒に指導してまいります。特に、調べ学習の際の学校図書館の利用などアナログ的な方法の活用も見直してまいります。
○項目3では、「身につけている」「ややできている」の回答が5.2%増加しましたが、「あまりついていない」という回答が30%を超えています。
→学校では、学級担任や教科担任より課題の提示や学習計画の立て方等を指導・支援したり、「1日1ページ学習」等の取り組みを継続しています。しかし、「家庭学習の習慣を身につける」ためには、ご家庭での声かけ等の支援が必要不可欠です。引き続き、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

【豊かな心】

○家庭から見た子供への評価は、前期と同様に全ての項目で高い数値でした。
○90%以上の肯定的な結果は、豊かな心を育んできた家庭や地域のご指導の賜物です。
→学校では、生徒の大きな問題行動等はありません。しかし、校内が騒がしい時がある等、これまでとは少し状況が変化しています。教職員一同、気を引き締め、日々の生活指導や心の教育、寄り添う指導を行ってまいります。また、不登校や心に悩みを抱える生徒が多く、支援が必要です。生徒個々の状況がありますが、ご家庭や外部機関とも連携しながら、「自己肯定感・自尊感情」を高める指導を継続してまいります。

【健やかな体】

○項目1では、「体を動かしている」生徒は前後期ともおよそ56%前後で、「体を動かしていない」生徒とほぼ半々の状況です。
→今年度も屋外に体育館開放を開始し、運動ができる環境づくりは行っている状況ですが、生徒の二極化が進んでいる状況には変わりありません。保健体育の授業や部活動を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする指導を継続してまいります。また、スマートフォンやゲームの普及や外遊びができる場所の減少等の社会現象も二極化の要因となっていると思われます。これらの点については、行政や保護者の方たちとの連携が欠かせません。ご協力をお願いします。
○項目3では、4分の1以上の生徒が「あまり規則的な生活ができていない」と回答しています。
→スマートフォンやゲームで、生活リズムが崩れている生徒が目立ちます。学校でも講演会や委員会活動等を通じて指導をしていますが、家庭でスマートフォンやゲームの利用時間等のルール作りをする等の指導をお願いいたします。

【信頼される学校】

4を除いて、概ね満足できる評価をいただきました。
○信篤三つ葉学園の取り組みの2年目を迎え、小・中乗り入れ授業を実施する教科が増え、さらに、部活動見学会、特別支援学級の交流等の小・中一貫型小中学校としての特色を生かし、中1ギャップを解消する一助となっていると思います。今後さらに充実した取り組みとなるよう、教育委員会とも連携し検討を重ねてまいります。
○項目5の評価は、「できていない」が減少した分、「よくできている」のポイントが増加しているのは、保護者の皆様のご理解を得られている結果だと考えます。しかし、まだ、4分の1の保護者の方から、否定的なご意見をいただいています。今後は、「不登校支援教室（ヒールーム）」の有効的な利用等を含め、「個々のニーズ」にあっているかを再確認し「信頼される学校」を目指します。

【ご意見と対策】

全ての意見の返答はできませんが、いくつかの回答と改善できる点や検討事項は職員で情報を共有し、今後の教育活動に反映させていただきます。貴重なご意見に感謝いたします。

○今の時期、下校時間は暗く裏門から出る通学路は大人でも一人で歩くのが怖いような道です。不審者も多いと聞きます。申請などせずともスマホを持たせたいです。居場所がわかるし連絡も取れるので親としては安心です。（同様の意見他1件）
→スマートフォンの持込については値段も高価なため、申請なしでの持込許可は考えておりません。また、スマートフォンを校内に持込むことにより、他のトラブルにつながる可能性がありますので、現状のような形の許可制になっていることをご理解ください。不審者対応については警察へのパトロール強化の依頼や防犯ブザーの貸し出しを行っていますので、必要な場合は生徒指導室までお申し出ください。
○テストファイルは家庭で保管しておきたい。振り返りで正解はこうなると書いてはいるが、次回に生かされていない。その場で終わりという感じがする。わからないことを家庭でも振り返りでどこで躓いているかを知りたい。本人も気付いてはいるようだが、塾に行ってもできない、ならば子どもの弱点を把握しておくにもテストファイルの家庭保管をお願いしたい。
→テストの救済等があるため、テスト実施日からある程度日にちをあけなければなりません。テスト問題は、家庭学習用に配付いたしますので、教科担任に申し出てください。
○部活動の指導を先生方から地域へ移行する取組はありますか。先生方が休日返上で見てくださるのは当たり前とは思っていません。なかなか難しいとは思いますが、高谷中の現状をご教示ください。
→部活動の地域移行については、市の方針として令和7年度には土日の部活動を地域移行していく方針がありますが、なかなか具体的な方向性が決まりません。方向性が示され次第、学校としても動いてまいります。また、本校も部活動顧問を務める教職員への負担が大きく、部活動地域指導者（外部指導者）の方のお力を借りています。現在もパドミントン、バレーボール等の実技指導をお願いできる外部指導者の方を探しています。もし、いらっしゃいましたらご連絡をお願いします。
○不審者対策は何をしていますか？保護者が来校する際には名札などはしれない。裏門は鍵が掛かっている。心配になる時があります。
→ご心配をおかけして大変申し訳ありません。現在は、裏門は修繕をして門を固定できるようにし、生徒の出入りのない時間は、常時閉めるようにしています。ただし、緊急（災害）時のため、鍵をかけることはできませんのでご理解をお願いします。また、保護者の皆様を含め来校者の方には、職員玄関から出入りをしていただき、記名後、来校者の名札を付けていただくことになっておりますので、その方法でご協力ください。また、警察との連携や職員の不審者対応研修の実施等の対応もとっておりますので、今後も生徒の安全確保に努めてまいります。

・市川市の共通項目の質問以外に、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の項目4は学校独自の質問です。
・各項目で無回答が2～3ありましたが、各項目の提出全体数での比率で%を算出しています。